

ネットワークアセスメント業務委託 特記仕様書

業務内容 詳細	備考
(ア・イ) 全体・机上(ネットワーク機器等)調査	
① 完成図書、契約内容等を参照し、机上から不具合原因となり得る箇所の有無を特定すること。	
② 机上調査に必要な資料等は、本業務の契約締結後、発注者から受注者に提供する。	
③ 必要に応じて、関係者にヒアリングを行うこと。	
(ウ) 通信品質調査(有線・無線)	
I 実行帯域(スループット)調査	
① 校内ネットワーク入口の実効帯域を測定し、学校全体の実効帯域を調査すること。但し、測定場所は発注者と協議の上、適切な場所を選定することを可とする。	
② 教室からの実効帯域を複数回測定すること。	・文科省/当面の推奨帯域との照合
③ 実効帯域の減少区間とその原因を特定すること。	
④ ①は、複数回の測定ではなく、2週間連続で測定したものをグラフにより可視化し、調査期間内の平均値、最大値を抽出すること。	
II 応答速度(レイテンシ)調査	
① 校内機器間やインターネット上のソフトウェアサービス間の応答時間を測定すること。但し、測定場所は発注者と協議の上、適切な場所を選定することを可とする。	
② 応答時間が遅くなっている区間を特定すること。	
③ ①は、複数回の測定ではなく、2週間連続で測定したものをグラフにより可視化し、調査期間内の平均値、最大値を抽出すること。	
III トラフィック調査	
① ネットワーク機器の処理性能に対して、トラフィックがどの程度流れているか調査すること。但し、測定場所は発注者と協議の上、適切な場所を選定することを可とする。	
② 通信が正常に処理出来ない区間を特定すること。	
③ ①は、複数回の測定ではなく、2週間連続で測定したものをグラフにより可視化し、調査期間内の平均値、最大値を抽出すること。	
IV セッション調査	
① 校内機器でセッション数がどの程度張られているか調査すること。但し、測定場所は発注者と協議の上、適切な場所を選定することを可とする。	
② 通信が正常に処理出来ない区間を特定すること。	
③ ①は、複数回の測定ではなく、2週間連続で測定したものをグラフにより可視化し、調査期間内の平均値、最大値を抽出すること。	
(エ) 有線LAN調査	
I CPU・メモリ調査	
① ネットワーク機器のCPU・メモリ使用率を調査すること。	
② 通信が正常に処理出来ない区間を特定すること。	
(オ) 無線調査	
① ヒートマップ調査を実施すること。	・ヒートマップ調査ツールを利用すること ・簡易的なフリーソフトでは対応不可
② 電波強度調査を実施すること。	
③ 電波干渉調査を実施すること。	・ヒートマップ調査ツールを利用すること ・簡易的なフリーソフトでは対応不可
④ ローミング調査を実施すること。	
⑤ 調査範囲は発注者と協議の上、適切な範囲を決定する。	
(カ) WAN回線調査	
① インターネット網内やプロバイダ側の混雑状況等を調査すること。	
② 但し、回線事業者、プロバイダ事業者等への問い合わせは、それぞれの契約者である発注者が行うこととし、問い合わせから得られたデータを基に調査を実施すること。	
③ ②で必要な問い合わせ内容を提示すること。	
(キ) その他委託者が必要と認める調査	